

感染症発生状況

令和5年2月22日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年2月13日（月）～2月17日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 694名 【職員】 20名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 138名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（394名）、咳・鼻水（112名）、下痢・腹痛（54名）、嘔気・嘔吐（26名）

疾病別：インフルエンザ（316名）、胃腸炎（23名）、突発性発疹症（7名）

【職員】症状別：熱（11名）、頭痛（4名）、その他（6名）

疾患別：インフルエンザ（13名）

A型インフルエンザが猛威を振るっています。

罹患者数において先週は先々週の6倍と一気に増えました。

今週も流行は続いています。引き続き、ご注意ください。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山地区、厨川地区、盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。

河北地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区で増加しました。厨川地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。

突発性発疹症 河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。

厨川地区で減少しました。

【県の状況（2/6～2/12）】

インフルエンザは、県全体の定点当たり患者数が14.51人となり、注意報レベルの10人を超えました。県央地区は35.78人、盛岡市は27.64人で顕著に増加しています。石けんと流水による手洗いは、手指についたウイルスを物理的に除去する有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫を感染経路とする感染症対策の基本です。人混みや繁華街への外出を控えることも防御策の一つです。

感染性胃腸炎は、二戸地区の定点当たり患者数が21.50人となり警報レベル（同20人）を超えました。県全体の患者数は減少しましたが、1週間に県内の教育保育施設でノロウイルスとサポウイルスによる集団感染事例が12例報告されました。胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいいため、調理前と食事前、用便後の石けんと流水による手洗いが重要です。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用して塩素系消毒剤で適切に処理しましょう。

新型コロナウイルス感染症の新規患者報告数は前週比633人減の1,753人でした。場面に応じたマスク着用、手指衛生、3密回避など基本的な感染対策で予防しましょう。発熱、咳、咽頭痛など体調不良時は外出を控えることが重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】